



とうきょうだいくうしゅう

**東京大空襲 は、どんな空襲だったの**

約70万発の焼夷弾しょういだんのじゅうたん爆撃ばくげきで、25万  
戸以上が焼け、8万人以上が死んだんだよ。

1944年3月10日、午前0時8分から約2時間半にわたり、アメリカ空軍のB-29爆撃機の大編隊が、東京の東部・中部を空襲しました。日本側の発表では130機ですが、アメリカ側の資料では334機です。B-29は1機または数機にわかれて、高度1000～4000メートルから、約70万発の焼夷弾のじゅうたん爆撃を行いました。焼夷弾とは、家などを焼き払うために、高熱を発生して燃える物をつめた爆弾ばくだんです。また、じゅうたん爆撃とは、部屋にじゅうたんをしきつめたように、無差別に、すき間なく爆撃することです。

**下町の住宅密集地じゅうたくみっしゅうちから、爆撃が始まった**

午前0時8分に最初に爆撃されたのは、深川区ふかがわ（今の江東区西部こうとう）です。0時10分に城東区じょうとう（江東区東部）、0時12分に本所区ほんじょ（墨田区南部すみだ）が爆撃され、0時15分になって、ようやく空襲警報くうしゅうけいほうが発令されました。その夜は北西の風が強かったため、あちこちで発生した火災が合流して、大火流となり、川や運河をこえて、住宅が密集する下町全体に広がっていきました。バケツリレーなどの消火活動は役に立たず、たくさんの人々が逃げおくれ、焼死しました。川に飛びこんで、おぼれて死んだ人も、たくさんいました。

**25万戸以上が焼け、8万人以上が死んだ**

夜が明けてみると、今の江東区・墨田区・台東区たいとうを中心に、中央区・千代田区ちよだ・荒川区あらかわ・港区などにまたがる広い地域ちいきが、焼け野原になっていました。帝都防空本部ていとぼうくうほんぶの資料では、全焼した建物25万9011戸、死者8万3070人、負傷者11万3062人、被害を受けた人88万9213人です。警視庁けいしちょうの資料では、死者8万3793人、負傷者4万918人です。